

私立大学情報教育協会
平成30年度第2回(被服学・美術デザイン)グループ分野連携合同会議議事概要
被服学教育FD/ICT活用研究委員会
美術デザイングループ運営委員会

I. 日時 : 平成30年10月7日(金) 10:00-12:00

II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局

東京都千代田区九段北4-1-14 九段北 TLビル4階 (TEL:03-3261-2798)

III. 出席者: 被服学FD/ICT活用研究委員会 阿部委員長、潮田委員、小原委員、石原委員
CCC美術デザイングループ運営委員会 有馬委員、宮田委員(ネット参加)
事務局 井端事務局長、森下、中村

IV. 議事概要

1. 開催要項の確定

阿部委員長の議事進行により、分野連携アクティブ・ラーニング対話集会の具体的な開催内容について検討を行った。各分野の話題提供予定者から報告された話題提供案について協議を行なうとともに意見交流のテーマ、開催日時場所、事前アンケート内容の確認と具体的な進め方についての協議確認を行い、以下のとおり決定した。

(1). 話題提供内容の協議と決定事項

① 被服学分野

話題提供者: 田中早苗氏(東京家政大学 服飾美術学科准教授)

テーマ: 「被服教育におけるICT活用の効果と評価について」

内容: 被服製作実習の知識理解の向上を図るため、LMSに被服製作の基礎知識・所作などの動画を掲載して、学修行動を把握することで、授業運営の評価・改善に役立っている取り組みを紹介する。

② 美術・デザイン分野

話題提供者: 宮本真帆氏(東京家政大学 造形表現学科准教授)

テーマ: 「学生作品の評価と振り返りを迅速化するICT活用の試みと提案」

内容: 課題作品の写真をスマホから作品DBにアップロードし、複数の教員及び学外の有識者による評価を通じて振り返りを行い、学びを発展させる取り組みについて展望を紹介する。

③ 被服学分野 美術・デザイン分野

話題提供者: 山下健氏(椙山女学園大学 生活科学部助教)

テーマ: 「海外共有サイトを活用したインテリアプロダクト分野の作品制作実践力向上に向けた授業改善の試み」

内容: 学生が海外サイトを利用して、インテリアプロダクト分野の作品制作におけるプロセスを記録・公開し、可視化・共有化することで、学生一人ひとりのプレゼンテーション能力、制作実践力の向上につなげる取り組みを紹介する。

(2). 意見交流の内容と事前アンケートについて

作品の独創性を高め社会に発信する力を向上させるICT活用授業の研究を中心に、実践事例や授業改善の提案について、参加者全員による意見交流を通じて、認識の共有化と授業改善に向けた方策を探求し、ネット上で学内外の意見を取り入れたオープンな教育改善実現の可能性と課題、ICTを活用した外部評価モデルの仕組みについて、以下のテーマで意見交流を行うことを確認した。

① 作品の独創性を高め社会に発信する力を向上させるICT活用による授業改善の研究

- ② ネット上で学内外の意見を取り入れたオープンな教育改善の可能性と課題
- ③ ICT を活用した外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策

(3) 開催日時と場所

開催日時：平成30年12月16日（日）13:30～17:00

開催場所：大妻女子大学 千代田キャンパス

V. 今後の予定

事務局は委員にアンケート集計結果を報告し、進行役委員は運営シナリオをまとめる。次回是对話集会とし当日、事前打合せ会を実施することを確認した。